

# 医師不足解消に向け、医師緊急派遣制度を！オスプレイ参加の訓練中止せよ！ 日本共産党新潟県委員会が大挙して上京、政府交渉



防衛省との交渉で発言する私。その右は藤野衆院議員、井上参院議員

日本共産党新潟県委員会は10日、政府交渉を行いました。これには県委員会の幹部や衆議院小選挙区の予定候補、市町村議員など20数人が参加し、国会議員が審議の間を縫って同席しました。上越市議団からは私と橋本正幸議員が参加しました。

交渉では厚生労働省、経済産業省、原子力規制委員会などに要望書を手渡し、関係当局が回答をした後、質疑応答を繰り返しました。医師不足による地域医療の困難を解決するための医師緊急派遣制度創設、災害対策の強化など要望は県民の切実なものばかりです。交渉はいずれも活発に行われましたが、なかでも原子力規制委員会、防衛省との交渉は熱を帯びたものとなりました。

柏崎刈羽原発に関しては、1〜4号機側の防潮堤が、地震による液状化で壊れる恐れがあること、緊急時対策所を5号機に変更したとしても緊急時の対応が安全かつ適切に行えるとは考えにくいこと、柏崎刈羽原子力発電所の汲み上げ量（サブドレン排出量）が福島第一原子力発電所の4〜8倍と膨大であり、この対策が重要となっていることから、原子力規制委員会に対して新基準の適合審査を行うにあたっての審査の視点、経過などをいただきました。規制委員会側は「いま、改めて審査している」などとのべるとどまるケースが多く、参加者からは、「事故や問題が起きてからの後追いではだめだ」など厳しい声が飛びました。

3月上旬から中旬にかけて関山演習場および相馬原演習場において行われる予定の、オスプレイ参加（調整中）の日米共同訓練の中止を求めた防衛省との交渉では、井上さとし参院議

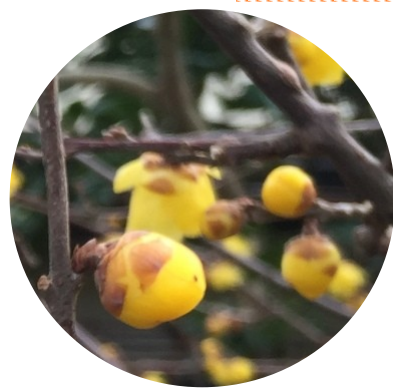


## 雪下雪室野菜の魅力探る

市議会食料農業農村議員連盟は14日、雪下野菜の生産、簡易雪室貯蔵の現場を視察してきました。

最初に訪ねたのは三和区山腰新田の小山田房子さんの畑。糸かぼちやの後作で作ったという人参は甘く、とても美味しい味でした。小山田さんのところでは、白菜も雪下野菜として栽培しているそうです。驚いたのは簡易雪室貯蔵です。シルバーシート、コンパネなどを使って4箱のコンテナに人参を貯蔵していました。意外と簡単にできるんですね。農協の担当者は、雪室の活用によって、「時間差攻撃」（出荷）出来ると言っていました。小山田さんは、「みんなでやれば、大きなことができる」と夢を膨らませていました。

議員連盟のメンバーはえちご上越農業協同組合（JAえちご上越）の「あるるんの杜」にある雪室も視察しました。



【ロウバイ】ロウバイ科の落葉低木。12月頃から黄色い花を咲かせています。漢字で「蟠梅」と書きます。梅という文字が入ることから、ずっとバラ科と思いこんでいました。写真は柿崎区馬正面にて撮影しました。

員、武田良介参院議員、藤野保史衆院議員がそろって同席しました。

沖縄でのオスプレイの事故が起きたにもかかわらず、今回の訓練では「安全は確保される」とのべる防衛省側に、「国会での議論をちゃん（いま一度）聴いて下さい。国会で論破されたことを出してはダメ。住民に不安を与えることが何で安心なのか。今回は米軍だけの訓練ではない日米共同訓練なんです。日本は参加できませんと言えばいいことだ」などと批判の声が続出しました。これからの運動がますます重要になってきました。

# はしづめ法一の活動レポート

No.1795 2017.2.19

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見たある記」はこちら

橋爪法一

検索

どんなに天気荒れていようと、お昼の時間になるとパツと晴れる。いいですね。先週の土曜日がそうでした。一時半を過ぎてYさん宅を訪れた私は、お茶に誘われ、ご馳走になってきました。

テーブルの上には、この時期としてはめずらしいものがありました。茹(ゆ)でた栗です。小さなかごに入れてありました。Yさんのお連れ合いに「うんめがでね。食べてみてくんない」と言われて、いただきますでしたが、秋の収穫時期のものほとんど変わらぬ味でした。この栗は冷凍しておいたものだそうです。

栗を食べ始めたところで、私よりも早くYさん宅でお茶飲みをしていたM子さんが私の顔を見て、声をかけてきました。しばらく、M子さんと私だけの会話になりました。

「おら、雪降る前に尾神岳から板山の方へ抜けて、田麦へ行ってきた」

「そいがかね。で、庄屋の家にでも寄つたのかね」

「いやいや、寄らんかった。そばを通っただけだった」

「まあ、寄って何か食べてくれば良かったがに」

そんな調子で話をしていたところへYさんがやってきて、お茶飲みの仲間が四人になりました。

Yさんは私を見るなり、神妙な面持ちで「橋爪さん、うちのお父さん帰って来るような気がしてならんがど」

と言われたのです。まだ六〇代だったお父さんが突然亡くなってからまだ四か月ほどです。亡くなったことがどうしても信じられないのでしようね。私は、どう言ってみようもなく、

「ほんとに帰ってきてくれるといいんだよね」

とだけ言いました。

その私の言葉をつなぐように、今度はM子さんが言いました。

「おらちのときも切なかつたわね。だつて、おらちのお父さん、死んだときは五三だでね」

M子さんのお父さんについてはN事業に勤めておられ、真面目な人だという印象が残っています。若いときに亡くなったことは憶えていましたが、五〇そこそこだったことは忘れていました。M子さんの言葉を聞いて、私が

「そんがに若かつたつけねえ」と言うのと、

「はあ、そいがでね。それに、お父さんの壇払いの日だというがに、今度はおじいちゃんも亡くなって、おら、よごぎに入らんねかつたわね、でつけえ穴あいたように……。でも、あいらいたすけね、若くて田んぼもせねかつたでも、あいらいたすけ助かつた」

そこまで一気にしゃべったM子さんは、久しぶりにお父さんのことをいろいろ思い出したのでしよう、N事業の社員旅行には必ず参加して、うれしそうだったことなども話してくれました。

そして、今度はYさん夫婦をなぐさめるように、「みんな、切ない思いをすることがあるんだよね」と言ったのでした。

この日、M子さんとYさん夫婦の話が続く中で、私は素敵な言葉に出合いました。「昼晴れ」という言葉です。「ひりばれ」とか「ひるばれ」と呼ぶのだそうですが、M子さんによれば、この日のように、どんな荒れた日でも午前一時頃から不思議と晴れるというのです。

その説明を聴いて、私はふと思いました。どんなにさみしいことやつらいことがある。でも、必ずパツと晴れるときがやってくる。「昼晴れ」は空模様だけじゃなく、人生にもあるんじゃないかと。



## 市議会が地域協議会正副会長と初の意見交換

上越市議会では13日と14日の午後、市内28区の地域協議会正副会長との意見交換会を開催しました。私は三和地区公民館会場の会に参加しました。

意見交換のテーマは地域協議会の活動で、地域における要望や意見などの取り上げ方、市からの諮問事項に関連する地域住民の意見集約、審議結果などの地域住民への周知、報告など5つ。各地域協議会会長から現状と課題を出してもらい、意見交換しました。この中では、「出前協議会を開いてきたが、行政の苦情処理をする場になることがある」「諮問事項を十分審議する余裕がない中で提案されることがたびたびあった」「中学生との意見交換会をやる中で地域の未来が見えてきた」「議会はやる気のある人が率先して出ていくべきだ」などの声が出ました。

今回の意見交換会は3つのグ

ループに分かれて行いましたが、時間は約90分、そのなかで5つのテーマについて話し合うのはちょっときつかったですね。でも、いい意見交換会になりました。

## 富山市議などと交流

富山市議会の会派「光」の皆さんと9日、懇談し、議会改革をめぐる率直な意見交換をしました。

富山市議会での一般質問の年間の時間制限や常任委員会の同時開催などの話を聴き、上越市議会よりも改革すべき課題は多いなと思いました。参加者からは、富山市議会では日本共産党議員団が4人に躍進して存在感を増していることなども教えていただきました。



## 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月8日(水)	2月14日(火)
上越南消防署	0.047	0.047
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.040	0.040
頸北消防署	0.047	0.057
頸南消防署	0.067	0.047
東頸消防署	0.050	0.053
高士分遣所	0.050	0.050
名立分遣所	0.050	0.053